小田高ＷＥＢの存在

「遠きに在りて思うもの」を、
ＷＥＢは、身近に引き寄せてくれた。
　そして今や、病いを抱えて何かと
出づらくなった僕にとって、何より
「元気がもらえる刺激の発信源」と
なっている。

　また、僕は趣味ひとつあれば、寂しくなく生きられる、と思っていたが、そうでないことを、このサイトに参加するようになって気が付いた。

　趣味ひとつでも理解してくれる人が居なければ、孤独に陥ってしまう。遅まきながらそれが解かった。

　しかし先ず、読んでいただけているのか分からず、迷いが出て逡巡したが、やがてそれでも構わない、投稿という行為そのものが元気の発露で、発信しているという「生命感」を持てるように変わった。

　そして何といっても、有難いのは絶えず励ましの声を送ってくれる親友の存在だ。ともすれば萎えてしまいそうになる弱い僕を支えてくれている。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

　あらためて、小田高ＷＥＢサイト運営者並びに同窓の友に感謝！

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

　最近、これまでの同窓諸氏の投稿を遡って見直している。

　まさに、多士済々である。

　ここで、最近の個々の投稿に言葉を寄せた内容でまとめようとして、当ＷＥＢ代表の今道氏にご意見を伺ってみた。

　実に的を得た言葉をいただいたので、その文言を以って、謝意を込めて締めくくりたい。

「書くことは自分を確立すること、
　読むことは自分を省みること。」